



## 今年度を振り返って



「保護者の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様におかれましては、今年度も本校支援部の活動にご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

今年度の卒業学年も3年間で、一人6回の職場実習を行いました。職場実習は本校の学習活動の中心です。日々の学校での学習を生かして、実際の職場で働き、社会人としての生活を経験することで、自分は何ができるのか、もっと何（社会人としてのルールやマナー、言葉遣い、集中力を高める等）をがんばればいいのかを知る学習となります。そして、職場実習の経験を生かして、次の目標に向けて学校や寄宿舎で学習することで、「働く社会人」としての姿に近づき、卒業後の進路に結び付けることができるからです。

昨年卒業した38名は、令和7年2月13日現在で、まだ一人も辞めずに働いています。例年ですと1年目の定着率は90%台になりますが、がんばって働いています。

障害者雇用に関して言えば、令和8年7月から障害者雇用率が2.7%に引き上げが予定されています。採用を考えてくださる事業所も増えてくることと思います。このような追い風の中、今後も保護者の皆様と一緒に、生徒が希望する進路をかなえられるように支援していきますので、御協力よろしくお願いいたします。 支援部部長 庄司竹弥



## 進路講話



### 1 学年

1 学年の講師は、進路が決定した本校の3年生5名が務めました。全体会では、進路が決定した先輩の話を学年全体で聞きました。これまでの職場実習のことや、内定が決まるまでの話にしっかりと耳を傾けていました。分科会ではグループに分かれ、少人数で先輩を囲み、4月からの仕事や生活についての話を聞いたり、質問に答えてもらったりしました。身近な先輩の言葉は、1年生にとってよい影響を与えてくれたようです。また、講師の先輩も「とても緊張しましたが、役に立ててうれしいです。」と感想を語ってくれました。

### 2 学年・3 学年

2 学年は企業で一般就労している卒業後1年目の先輩を、3 学年は卒業後2年目の先輩をそれぞれ講師に招きました。

実際の現場での体験談や在学中に身に付けておく良い力など、今後につながる内容のお話をいただきました。もうすぐ卒業して社会人となる3年生には、「岩沼高等学園で学習したことは仕事に活かせる」こと、「就労は実習と違って期限がないので、体力と礼儀が大切」とのアドバイスを頂きました。そして、社会人として一番大切なことは「周りの方からの信頼を得ること」と力強くお話を頂きました。

先輩から在校生に受け継いでいく取り組みについて、今後も継続していきたいと思います。  
講師を派遣してくださった企業様をはじめ、講師を務めていただいた卒業生に深く感謝いたします。

【各種お問い合わせ・教育相談の申し込み】

担当 : 主幹教諭 相澤

住所 〒989-2455 岩沼市北長谷字豊田1-1 TEL 0223-25-5332

HP <https://iwanuma.myswan.ed.jp>

FAX 0223-25-5333